8歳と5歳2児のママ

無所属
流山市市議会議員

近藤みほ通信

Vol. 6

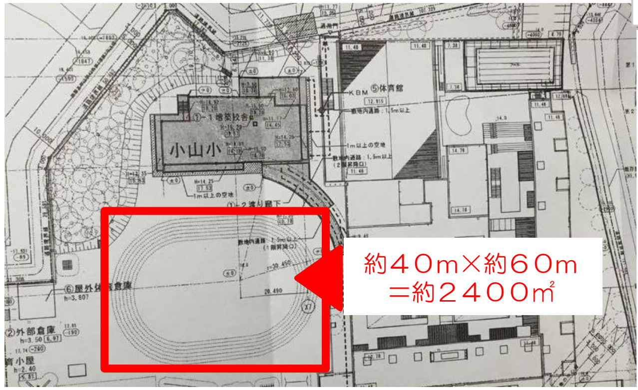
9月議会 一般質問報告

2016.10 発行

討議資料

今回の議会では、局所的な人口増によって顕在化している問題について指摘、直近の対策について提言、その他、近隣自治体と比較しても極端に少ない子ども家庭部職員の増員を求めました。

増築後の小山小学校、どんどん狭くなる校庭



1人あたりの運動場面積ランキング

35	千葉県	22.40
36	香川県	22.20
37	静岡県	22
38	奈良県	21.90
39	福岡県	20.70
40	京都府	20.10
41	沖縄県	19.10
42	兵庫県	19
43	愛知県	18.70
44	大阪府	13.40
45	東京都	11.70
46	神奈川県	11.60

小山小は約3㎡／1人 最下位にも入っていない

小山小学校の児童数830人の運動面積は、小学校設置基準によると原則7200㎡以上必要で、例外的状況になっています。
縄跳びがやっとなのか、ボール等を使ったチーム競技が出来る環境なのかは教育環境として異なる。子ども達の犠牲の上に成り立つ街づくりであってはいけないので厳しくチェックしていきます。

小山小学校は1学年3クラスで計画していましたが、想像以上に子どもが増えたため、度重なる増設で校庭が狭くなってしまいました。おおたかの森小学校は1学年4クラスで計画されていましたが、開校1年にして想定を大幅に上回り増設決定となりました。今回の一般質問では、マンションラッシュで学校整備に苦慮した（流山市と同様の問題）江東区のように、増加する児童の受入れが困難な小学校の区域内でマンション開発を行う事業者に対し「公共施設整備協力金」の拠出や、計画の延期・中止、用途変更などを時限的に求め、学校整備計画等、児童の受入れ体制を整えるべきと提言しましたが、市は耳を貸してくれず、引き続き住民誘致政策を進めていくとの回答でした。子育て環境が不十分な状況で住民誘致策を進めるのは無責任です。新設校を作るくらいの覚悟で誘致を行ってほしい。
今後も厳しくチェック、提言して参ります。

詳細は HPにて ▶

http://mihokondoh.net

【最近の投稿】

- 地域子育て支援センター利用比較
- 人口に対する保育所定員の比較
- 「組体操中止」その後
- 人口急増で小学校がパンクしそうですが・・

「ざっくばらんに何でも聞いてみたい会」開催中

２～３人からの集まりに出張し、近藤が学んだこと、市に提言したこと、私の考えをお伝えします。また皆様との対話によって市に提言すべきことを考えていきます。議員は市民と行政のパイプ役。ワンストップ窓口係です。お気軽にご連絡ください。

相談＆問い合わせ先： info@mihokondoh.net

他の地区は
大丈夫？

平成28年4月1日に住んでいる子どもの年齢から6年後の児童数を推定しました。
おおたかの森地区以外でも児童が増える地区もありインフラ整備が十分か（校庭面積は十分か学童の施設は適切かなど）注視する必要があります。市には子育て環境に対する現状と対策の明確化を求めていきます。勿論私も知恵を出していきます。

	現在の人口（A）	6年後の人口（B）	（B）／（A）
江戸川台小学校区	453	397	0.88
おおたかの森小学校区	856	1,403	1.64
小山小学校区	856	1,764	2.06
新川小学校区	573	370	0.65
長崎小学校区	554	520	0.94
流山小学校区	899	1,057	1.18
流山北小学校区	778	619	0.80
西初石小学校区	768	668	0.87
西深井小学校区	163	203	1.25
東小学校区	800	713	0.89
東深井小学校区	786	548	0.70
鰭ヶ崎小学校区	537	714	1.33
南流山小学校区	772	1,172	1.52
向小金小学校区	417	415	1.00
八木北小学校区	698	612	0.88
八木南小学校区	234	306	1.31

（住民基本台帳より算出、越境は考慮なし）

【子育て環境整備充実のため下記を提言していきます】

住民誘致するなら質にコミットすべし	**詰込みの学童の解消** ・使いやすい学童施設整備 ・先進的な自治体の取組みの研究と積極導入 ・民間学童利用者への助成 ・夏休みの学校開放 ※地域の人材と協働で運営 **子育て支援のさらなる充実** **問題のある保育園に関する運営改善の仕組み構築** **学童保育ステーション**
質にコミットできないなら住民誘致を辞めるべき	**学校の受入れ体制が整うまで、マンションの建設を時限的に制限** ➡導入実績のある江東区を視察してきます。
住民に説明すべき	**児童増加の対応についての情報発信（学校毎）**

6年後に児童数が2倍！？
現在建設中のものを考慮すれば4年後は2倍に到達しそう・・

児童が少なくなる地域には活性化策と**高齢者対策**が必要

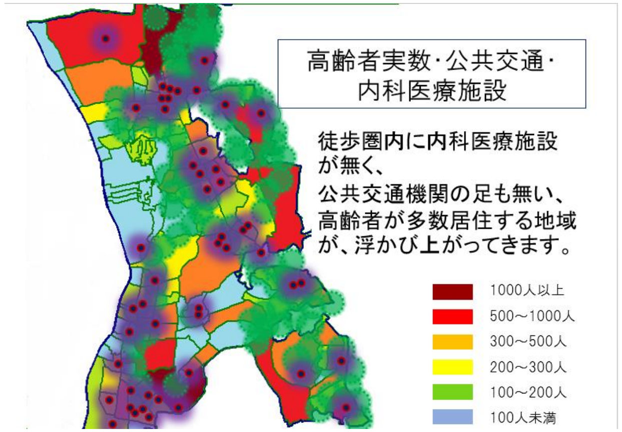
学童の質向上に向けた調査を継続中！
児童人口急増で子ども達にしわ寄せが行かないよう、建築と保育の専門家と一緒に改善案を検討しています。

【その他の活動】

10/16 近藤にざっくばらんに何でも聞いてみたい会
早朝にも関わらず、子育て世代27名にご参加頂きました。皆様も是非私を呼んでください。

10/23 市民と議員の条例づくり交流会議
“スポンジ化”する都市にどう向き合うか？
―人口減少時代の自治体議会の役割―にパネラー参加

元エンジニアだから出来る！高齢者の足についても調査中
緑の円：主要な駅・バス停から300m
紫の円：内科医療施設から300m
▶もれた地域に課題あり！



（近藤みほ略歴）
茨城県潮来市生まれ。東京都立大学大学院 建築学卒。2児（８歳と６歳）の母。大学時代にコンピューターの面白さに出会い、都内のITエンジニアリングコンサル会社に就職。本格的に働き始めたら地域にお世話になるからと、第二子の育児休業中にボランティアに従事。地域には様々な課題があることを知り、本腰をいれて向き合いたいと立候補。 H27年5月流山市議会初当選。

討議資料